



日頃の成果を発揮！

ねんりんスポーツ下妻大会

6月30日、砂沼荘で下妻市老人クラブ連合会主催による「ねんりんスポーツ下妻大会」が開催されました。この大会は、スポーツを通じた健康づくりと参加者同士の交流を深めることを目的に毎年行われています。

当日は市内5つのクラブから30名が参加し、グラウンド・ゴルフと輪投げが行われました。参加者の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、和気あいあいとした雰囲気の中にも白熱した試合を繰り広げていました。

本大会の成績上位者は、10月に開催される「いばらきねんりんスポーツ大会」に出場します。同連合会は、今後も高齢者の生きがいづくりや健康増進、地域コミュニティの活性化に向けた活動を続けていきます。

☎ 長寿支援課

グラウンドゴルフ【成績：6位まで抜粋】（敬称略）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 高道祖カラオケ愛好会 渡辺 光一 | 4 上妻南ながいきクラブ 蓮見 と志江 |
| 2 本宿本城町老人クラブ 澤部 一夫 | 5 本宿本城町老人クラブ 黒川 由紀子 |
| 3 本宿本城町老人クラブ 萩原 寛一 | 6 上妻南ながいきクラブ 大谷 つき |

輪投げ【成績上位チーム】（敬称略）

優勝 高道祖カラオケ愛好会

メンバー：塚田 ヨシ子、飯村 さち子、神郡 芳子、小林 つぎ、鈴木 妙子



地元企業と未来をつなぐ

「下妻市合同企業説明会」が開催

6月20日、千代川体育館において「下妻市合同企業説明会」が開催されました。

今回で5回目を迎える説明会では、市内に立地している14の企業が参加し、高校生や専門学生、大学生、一般求職者などの就職希望者と、その保護者を含む計127名が参加しました。参加者は各企業のブースを訪れ、担当者の説明に熱心に耳を傾けたり、積極的に質問したりする姿が印象的でした。

地元企業から直接話を聞くことで、多くの若者が市内での就職に関心を深めた様子でした。参加した高校生からは、「さまざまな企業の話が聞けて良かった」「希望する企業でリーダーとなるような仕事をしてみたい」など、就職に向けての積極的な声が聞かれました。

下妻市では、持続可能なまちづくりの一環として、地元での安定した雇用の創出を目指しています。今回の説明会が、就職希望者と企業の新たな出会いの場となり、地域経済のさらなる発展につながることを期待されます。

☎ 企画課

【参加企業】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| (1) アイジー工業株式会社 | (8) 新光電子株式会社 |
| (2) EL APSC 合同会社（エスティローダーカンパニーズ） | (9) 日本コアー株式会社 |
| (3) 株式会社A & Dマニファクチャリング | (10) 株式会社Parker TAIYO |
| (4) SMC 株式会社 | (11) フジパン株式会社 |
| (5) カルビー株式会社 | (12) 丸宇木材市売株式会社 |
| (6) 関東鉄道株式会社（関東鉄道グループ） | (13) ムサシ電子株式会社 |
| (7) 株式会社三五関東 | (14) 株式会社LIXIL |

地域の絆で築く明るい未来

第76回 “社会を明るくする運動”

7月7日、イオン下妻店と道の駅しもつまで街頭キャンペーンを実施しました。当日は約50名が参加し、来場者にリーフレットを配布して、更生保護制度の周知や犯罪防止の重要性を呼びかけました。

明るい地域づくりに向けた意識を高める、有意義な機会となりました。

■社会を明るくする運動とは

すべての国民が、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの更生について理解を深めるための全国的な運動です。それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的としています。

☎ 福祉課



リーフレット配布の様子（イオン下妻店にて）

市役所窓口で透明ディスプレイ型翻訳機を導入

外国人住民や耳の不自由な方への窓口サービス向上のため、透明ディスプレイ型翻訳機を導入しました。設置窓口は、子育て支援課（1階）、収納課（1階）、企画課（3階）です。

この翻訳機は、話した言葉がリアルタイムで文字になり、透明な画面上に表示されます。100種類以上の言語の同時翻訳に対応し、顔を見ながら安心した対話が可能です。日本語の文字表示機能もあり、聴覚に障がいのある方やご高齢の方へのご案内にも役立ちます。

なお、企画課においては、外国人相談窓口を開設し、生活の困りごとや市役所の手続きなど本機器を使ってお手伝いします。

下妻市ではこれからも、誰もが利用しやすい窓口サービスの提供に努めてまいります。



透明ディスプレイ型翻訳機でコミュニケーションを取る様子

☎ 企画課